

令和4年度 一般採用試験
数学・社会 (数学) 試験問題
(人文・社会科学専攻)

(注 意)

1. 解答用紙の注意事項を確認のうえ、例にならって氏名及び受験番号を解答用紙に必ず記入及びマークすること。

例 【氏名】 防大 渚 【受験番号】 神奈川人W1234 の場合

※氏名及び受験番号の記入について

	氏	名
フリガナ	ボウダイ	ナギサ
漢字	防大	渚

	志願地本名	専攻区分	番 号
受験番号	神奈川	人	W1234

※受験番号等のマークについて (女子受験者は、番号のWはマークしない。)

志願地本名	札幌: 01	福島: 10	
	函館: 02	茨城: 11	
	旭川: 03	栃木: 12	
	帯広: 04	群馬: 13	
	青森: 05	埼玉: 14	
	岩手: 06	千葉: 15	
	宮城: 07	東京: 16	
	秋田: 08	神奈川: 17	
	山形: 09	新潟: 18	

専攻区分			
人社			
性別			
男	1		
女			
0	0	0	0
1		1	1
2		2	2
3	3		3
4	4	4	
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9

2. 試験時間中は、すべて試験係官の指示に従うこと。

3. 解答方法は、択一式であり、設問ごとの指示に従い、解答用紙の解答欄にマークすること。

例えば、1(1)と表示のある問題に対してCと解答する場合は、次の例のように1(1)の解答欄のcにマークすること。

例	解 答 欄							
	1(1)	a	b	c	d	e	f	g

(下書き用紙)

1

次の間に答えよ。

- (1) $\vec{0}$ でない 2 つのベクトル \vec{a} と \vec{b} のなす角が 120° で、等式 $(\vec{a} + \vec{b}) \cdot (\vec{a} + t\vec{b}) = 3$ が
どのような実数 t の値に対しても成り立つとき、 $|\vec{b}|$ の値は次のどれか。

Ⓐ 1 Ⓑ 2 Ⓒ 3 Ⓓ $\sqrt{3}$ Ⓔ $2\sqrt{3}$ Ⓕ $\frac{\sqrt{6}}{2}$ Ⓖ $\sqrt{6}$

Ⓑ 以上のどれでもない。

- (2) $2^a = 15$, $5^b = 4^c = 3$ のとき、 $2^{b(a-2c)}$ の値は次のどれか。

Ⓐ 1 Ⓑ $\frac{3}{2}$ Ⓒ 2 Ⓓ $\frac{5}{2}$ Ⓔ 3 Ⓕ $\frac{7}{2}$ Ⓖ 4

Ⓑ 以上のどれでもない。

- (3) a は負の定数とする。関数 $y = x^2 - ax + \frac{a^2}{4} + 2$ ($0 \leq x \leq 2$) の最大値を p 、最小
値を q とするとき、 $p + 3q$ を表す式は次のどれか。

Ⓐ $\frac{a^2}{4} + 8$ Ⓑ $\frac{a^2}{4} - 2a + 12$ Ⓒ $\frac{3}{4}a^2 - 16a + 20$

Ⓓ $a^2 - 2a + 12$ Ⓔ $a^2 - 6a + 12$ Ⓕ $a^2 - 6a + 20$

Ⓖ $a^2 - 12a + 6$ Ⓗ 以上のどれでもない。

- (4) α は定数とする。関数 $y = 2 \sin x + \sin(x + \alpha)$ の最大値が $\frac{5}{2}$ であるとき、 $\cos \alpha$ の
値は次のどれか。

Ⓐ $\frac{1}{2}$ Ⓑ $\frac{3}{4}$ Ⓒ $\frac{5}{4}$ Ⓓ $\frac{3}{8}$ Ⓔ $\frac{5}{8}$ Ⓕ $\frac{3}{16}$

Ⓖ $\frac{5}{16}$ Ⓗ 以上のどれでもない。

- (5) 定積分 $\int_{-3}^1 |x^2(x+2)| dx$ の値は次のどれか。

Ⓐ $\frac{4}{3}$ Ⓑ $\frac{19}{6}$ Ⓒ $\frac{43}{12}$ Ⓓ $\frac{9}{2}$ Ⓔ $\frac{35}{6}$ Ⓕ $\frac{27}{4}$

Ⓖ $\frac{43}{6}$ Ⓗ 以上のどれでもない。

2

1辺の長さが1の正五角形ABCDEについて、辺BCの中点をM、辺CDの中点をNとする。このとき、次の間に答えよ。ただし、 $BE = \frac{1+\sqrt{5}}{2}$ を用いてよい。

(1) 実数 s_1, s_2 を用いて、 $\overrightarrow{AC} = s_1 \overrightarrow{AB} + s_2 \overrightarrow{AE}$ と表すとき、 s_1 の値は次のどれか。

- Ⓐ $\frac{1+\sqrt{5}}{2}$ Ⓑ $\frac{2+\sqrt{5}}{2}$ Ⓒ $\frac{3+\sqrt{5}}{2}$ Ⓓ $\frac{\sqrt{5}-1}{4}$
Ⓐ $\frac{3+\sqrt{5}}{4}$ Ⓑ $\frac{1}{2}$ Ⓒ 1 Ⓓ 以上のどれでもない。

(2) 実数 t_1, t_2 を用いて、 $\overrightarrow{AM} = t_1 \overrightarrow{AB} + t_2 \overrightarrow{AE}$ と表すとき、 t_1 の値は次のどれか。

- Ⓐ $\frac{1+\sqrt{5}}{2}$ Ⓑ $\frac{2+\sqrt{5}}{2}$ Ⓒ $\frac{3+\sqrt{5}}{2}$ Ⓓ $\frac{\sqrt{5}-1}{4}$
Ⓐ $\frac{3+\sqrt{5}}{4}$ Ⓑ $\frac{1}{2}$ Ⓒ 1 Ⓓ 以上のどれでもない。

(3) 線分ANと線分EMの交点をOとする。 $\overrightarrow{AO} = k(\overrightarrow{AB} + \overrightarrow{AE})$ となる実数kの値は次のどれか。

- Ⓐ $\frac{5-\sqrt{5}}{5}$ Ⓑ $\frac{5+\sqrt{5}}{10}$ Ⓒ $\frac{5+\sqrt{5}}{5}$ Ⓓ $\frac{5-\sqrt{5}}{10}$
Ⓐ $\frac{\sqrt{5}}{5}$ Ⓑ $\frac{\sqrt{5}}{10}$ Ⓒ $\frac{1}{2}$ Ⓓ 以上のどれでもない。

3

数列 $\{a_n\}$ の初項から第 n 項までの和 S_n が、 $S_n = 2a_n - \frac{1}{2^{n-1}}$ であるとき、次の問に答えよ。

(1) a_2 の値は次のどれか。

- Ⓐ $\frac{1}{2}$ Ⓑ 1 Ⓒ $\frac{3}{2}$ Ⓓ 2 Ⓔ $\frac{5}{2}$ Ⓕ 3 Ⓖ $\frac{7}{2}$
Ⓑ 以上のどれでもない。

(2) $b_n = 2^{n-1}a_n$ とするとき、 b_{n+1} を b_n で表す式は次のどれか。

- Ⓐ $b_n + 2$ Ⓑ $2b_n - 1$ Ⓒ $2b_n$ Ⓓ $2b_n + 1$ Ⓔ $4b_n - 1$
Ⓕ $4b_n$ Ⓕ $4b_n + 1$ Ⓖ 以上のどれでもない。

(3) $a_n > 2021$ となる最小の n の値は次のどれか。

- Ⓐ 8 Ⓑ 9 Ⓒ 10 Ⓓ 11 Ⓔ 12 Ⓕ 13 Ⓖ 14
Ⓑ 以上のどれでもない。

4

直線 $y - 2x = 0$ を l_1 , 直線 $2y - x = 0$ を l_2 とする。このとき, 次の間に答えよ。

(1) 2直線 l_1, l_2 のなす角を θ とするとき, $\tan \theta$ の値は次のどれか。ただし, $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ とする。

- Ⓐ $\frac{3}{5}$ Ⓑ $\frac{3}{4}$ Ⓒ $\frac{4}{5}$ Ⓓ 1 Ⓔ $\frac{5}{4}$ Ⓕ $\frac{4}{3}$ Ⓖ $\frac{5}{3}$

Ⓑ 以上のどれでもない。

(2) 直線 l_3 は第1象限のある点において直線 l_2 と垂直に交わるとする。また, 3直線 l_1, l_2, l_3 で囲まれた三角形の面積は $\frac{3}{10}$ とする。このとき, 直線 l_3 の y 切片は次のどれか。

- Ⓐ 1 Ⓑ $\frac{6}{5}$ Ⓒ $\frac{5}{4}$ Ⓓ $\frac{4}{3}$ Ⓔ $\frac{3}{2}$ Ⓕ 2 Ⓖ $\frac{5}{2}$

Ⓑ 以上のどれでもない。

(3) 点 (x, y) が(2)の三角形の周および内部を動くとき, $5x + 6y$ の最大値は次のどれか。

- Ⓐ $\frac{13}{2}$ Ⓑ $\frac{15}{2}$ Ⓒ $\frac{17}{2}$ Ⓓ $\frac{13}{3}$ Ⓔ 5 Ⓕ $\frac{17}{3}$

- Ⓐ $\frac{19}{3}$ Ⓑ 以上のどれでもない。